

「子どもとことばの力」第10回フォーラム ～コトバは遊ぶ、コトバで遊ぶ～

日 時：2019年6月21日（金）

14時30分～17時00分（14時00分開場）

会 場：「研究社英語センタービル」大会議室（地下2階）

東京都新宿区神楽坂1-2 電話 03-3269-4331

内 容

第1部 講演 石津 ちひろ 先生

「絵本の楽しみ ことばの愉しみ」

講演 内田 麟太郎 先生

「絵本で語る 詩で語る」

第2部 石津ちひろさん、内田麟太郎さんに聞く

聞き手 藤田 のぼる 先生（児童文学評論家）

「子どもとことばの力」フォーラムとは

日本図書教材協会では、子どもたちのことばの力を伸ばしていくために、今なにが求められているのかを考え合う場として、2009年度から「子どもとことばの力」フォーラムを立ち上げました。

10回目を迎えた今回は、子どもたちに人気の高い、いわゆる「言葉遊び」の詩や物語を取り上げました。教科書や教材の中にも言葉遊び的な詩が採られています。ある意味「教材」としてはもっとも扱いにくい作品でもあります。絵本や詩の世界で、子どもたちに言葉の楽しさを存分に味わせている二人の作家をお招きし、言葉本来が持っている魅力と子どもたちにとっての意味などについて学び合いたいと思います。

講師紹介

石津 ちひろ 先生

1953年、愛媛県生まれ。早稲田大学文学部仏文科卒業。3年間のフランス滞在を経て、絵本作家、詩人、翻訳家に。『なぞなぞのたび』（絵・荒井良二、フレーベル館）でポローニヤ児童図書展絵本賞、『あしたうちにねこがくるの』（絵・ささめやゆき、講談社）で日本絵本賞、詩集『あしたのあたしはあたらしいあたし』（理論社）で三越左千夫少年詩賞を受賞。他にも『くだものだもの』（絵・山村浩二、福音館書店）、近作の『だいだいだいすき』（絵・たかくわこうじ、ハッピーオウル社）など。訳書に「リサとガスパール」シリーズ（ブロンズ新社）ほか。

内田 麟太郎 先生

1941年、福岡県生まれ。上京後、看板職人をしながら、詩作。30代後半で児童書の世界に。“絵詞作家”を名乗り、『うそつきのつき』（絵・荒井良二、文溪堂、小学館児童出版文化賞）『がたごとがたごと』（絵・西村繁男、日本絵本賞）などの受賞作に加え、『ともだちや』に始まる「おれたち、ともだち！」シリーズ（絵・降矢なな、偕成社）は13冊に。詩集に、『ぼくたちはなく』（PHP研究所、三越左千夫少年詩賞）『ませごはん』（銀の鈴社）などがある。2016年から、日本児童文学者協会理事長を務める。

定 員： 100人（参加費無料、先着申し込み順）

■主 催： 一般社団法人日本図書教材協会

■後 援(予 定)： 日本児童文学者協会、日本児童文芸家協会、日本文藝家協会
日本児童図書出版協会、日本書籍出版協会

「子どもとことばの力」第10回フォーラム

参加申込書

お申し込み方法：下記事項をご記入のうえ、「子どもとことばの力」フォーラム係までFAXにてお申込みください。
メールや電話でのお申し込みでも結構です。

「子どもとことばの力」フォーラム係 FAX 03-3267-1047

メールの場合は forum@nit.or.jp まで、下記内容がわかるように入力してお送りください。

お名前 (グループの場合 代表者名)	(勤務先または所属団体名)	グループの場合の参加者数
連絡先住所		名
連絡先電話番号 または メールアドレス		

*連絡先は、このフォーラムに関するご連絡以外には利用いたしません。

※定員になり次第締め切らせていただきます。詳細は(社)日本図書教材協会ホームページ
<http://www.nit.or.jp> をご覧ください。



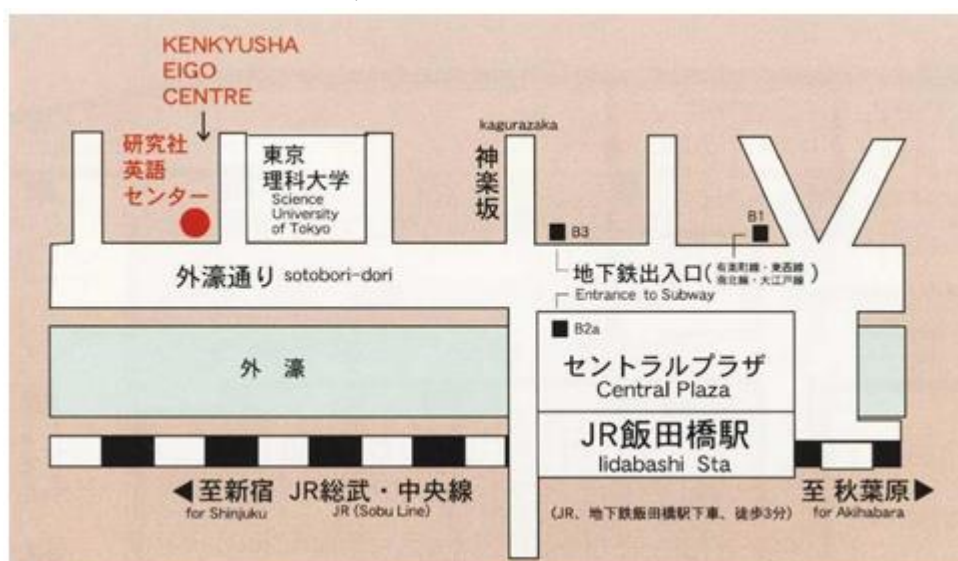
(社)日本図書教材協会「子どもとことばの力」フォーラム係

担当：渡部(わたなべ)

〒162-0831 東京都新宿区横寺町64-2

電話 03-3267-1041 FAX 03-3267-1047 メール forum@nit.or.jp

☆ 会場へのアクセス ☆



JR「飯田橋駅」西口、徒歩3分

地下鉄「飯田橋駅」(有楽町線・東西線・南北線・大江戸線) B3出口徒歩3分